そこに、住んでいなくとも。

「まつだい棚田バンク」で、
越後妻有の棚田を守り、
育てていくことができます。

まつだい 棚田バンク 里親募集

まつだい棚田バンクが目指すもの

- おいしいお米を作ること
- 先人たちが守ってきた土地を守り受け継ぐこと
- なるべく多くの、多様な人たちと関わること

申込みについて

1. 申込み・お支払い方法

・オンラインで https://tsumari.official.ec/

大地の芸術祭の里オンラインショップにて、必要事項を記入の上、お支払いください。お支払い方法はクレジット決済またはコンビニ決済がご利用いただけます。

・郵便振替で

郵便局の下記指定口座にお振込みください。（振込手数料はお客様の負担となります）
口座番号：00550-4-57917
加入者名：まつだい棚田バンク
通 信 欄：①申込みコースと口数（コース名「標準・150㎡」、「小口・30㎡」）
②ご案内を受け取ることができるメールアドレス（PCまたはスマートフォン）
ご依頼人：郵便番号、ご住所、お名前とフリガナ、電話番号

・窓口で

大地の芸術祭の里の下記施設にて、申込み用紙にご記入の上、お支払いください。
・まつだい「農舞台」内 / まつだい棚田バンク事務局（現金のみ）
・越後妻有里山現代美術館［キナーレ］内 / ミュージアムショップ（現金・クレジットカード・電子マネー）

		年会費	配当目安
・標準コース	150㎡	42,000円（税別）	精米 約 30kg
・小口コース	30㎡	12,000円（税別）	精米 約 6kg
・法人コース	1,500㎡～	420,000円（税別）～	精米 約300kg

法人コースについては、詳細は事務局にお問い合わせください。

2. 里親証書の発行、送付

ご入金の確認後、里親証書をお送りします。
＊郵便振替の場合、入金確認に1週間ほどかかります。確認後の発行となりますので、予めご了承ください。

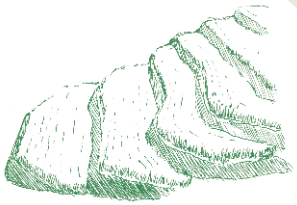
3. 里親登録完了

まつだい棚田バンクの里親として登録完了です。
みなさんが保有する田んぼの状況は、年4回の「かわら版」という会報誌でお知らせするほか、まつだい棚田バンクのSNSなどで、リアルタイムで発信します。

［お問い合わせ先］
まつだい棚田バンク事務局（NPO法人越後妻有里山協働機構内）
TEL：025-595-6180（10:00～17:00、水曜休）
E-mail：tanada@tsumari-artfield.com

photo by Kasane Nogawa

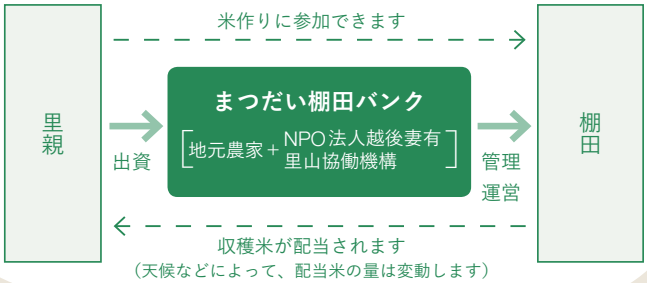
＼そもそも棚田とは？／



階段状に連なった田んぼのこと。
山麓を切り拓いて作った棚田は、急斜面にあるうえ、あまり広くないことがほとんど。農機が入れず人の手間がかかるため、「きついところ」から順に、担い手がいなくなっています。
棚田はおいしいお米を育てる土壌や景観地としてだけでなく、山を支え、川を守り、空気を綺麗にし、多くの生きものに住みかを提供してきました。また、いざという時は地下水を貯めておくプールになり、さらに地滑りなどの災害防止にも役立つ存在です。

＼「まつだい棚田バンク」の仕組みは？／

棚田の日常の管理は地元の農家と事務局が行います。運営資金や農繁期の農作業を里親がサポートし、みんなで耕作をすることで棚田を保全します。収穫したお米は、全体の収量とそれぞれの里親が保有している面積に応じて配当されます。



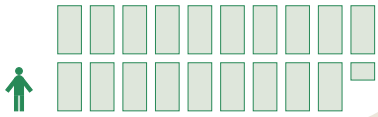
＼「まつだい棚田バンク」とは？／

まつだい棚田バンクは、「大地の芸術祭」が取り組むプロジェクトの一つです。
新潟県十日町市松代（まつだい）は、「星峠の棚田」をはじめとした、日本有数の棚田が広がる地域。
まつだい棚田バンクは、担い手のいなくなった田んぼをできる限り多く引き受け耕作しながら、「大地の芸術祭」が培ったネットワークを活かして、里親（棚田バンクオーナー）や地元住民、アーティスト、企業や学生など、多種多様な人々とともに、都市と地域の交流を広げる活動を行っています。

＼里親になると？／

入ったコースに応じて、それぞれの大きさの田んぼを担っていただきます。
・標準コース：一口あたり150㎡の田んぼ／42,000円（税別）
・小口コース：一口あたり 30㎡の田んぼ／12,000円（税別）

小口の一口30m²は、約19畳強の広さです。



里親になるとできること

越後妻有の棚田を守ることができます。

出資いただいた資金は、まつだい棚田バンクの田んぼの日常管理に使われ、棚田の保全活動に直結します。通年の田んぼの耕作・日常管理は、NPO法人越後妻有里山協働機構の農業チーム（女子サッカー選手が棚田の担い手として移住・就農し、プレーする農業実業団チーム「FC越後妻有」も含む）が担当します。

棚田バンクの田んぼでとれたおいしいお米を送ります。

里親のみなさんは、その年のお米の「収量」と、それぞれが保有する「面積」に応じて、配当米を受け取ります。お送りするお米はもちろん、棚田バンクで育てた魚沼産のコシヒカリです。

年に3回のイベントに参加できます。

越後妻有の豊かな自然に囲まれながら、田んぼに入って農作業を行います。ここには、個人・企業オーナーとスタッフだけでなく、地元の野の師父やアーティスト、学生など、棚田バンクに関わるありとあらゆる人たちが集います。

田植え
5月末～6月初旬｜地元の農家のお父さんたちを先生に迎え、昔ながらの手植えで田んぼに苗を植えていきます。

草刈り
7月｜稲をすくすく成長させるために、害虫の住みかとなる畦草（田んぼ周りの草）を刈ります。米作りには、とても大切な作業です。

稲刈りと収穫祭
9月末～10月初旬｜黄金色になり、頭を垂れた稲を刈ります。大地の恵みに感謝し、とれたての新米でお祝いをします。

それぞれのイベントには、食事をしながらみんなで楽しむ交流会があります。春は山菜、夏は夏野菜、秋は新米や秋野菜など、越後妻有の豊かな食材が並びます。また、里親同士のコミュニケーションの場でもあります。イベントへの参加は自由選択制です。

*イベント参加時の昼食や宿泊などは、別途料金が必要です。 *天候によっては農作業やイベントを実施できない場合があります。 *農作業の日程については、稲の成長具合により、約一か月前にお知らせします。